

## 福祉サービス第三者評価の結果

### 1 評価機関

名称：株式会社 マスネットワーク	所在地：長野県松本市中条 1-14
評価実施期間：平成29年8月1日～平成29年12月20日	
評価調査者（評価調査者養成研修修了者番号を記載） 060802 060672 060773 050231	

### 2 福祉サービス事業者情報（平成30年1月現在）

事業所名：特別養護老人ホーム ローマンうえだ （施設名）	種別：介護老人福祉施設 併設 短期入所生活介護
代表者氏名：理事長 油井 博一 （管理者氏名）（施設長：六川 真理子）	定員（利用人数）：93名（93名） 短期入所生活介護：10名（9名）
設置主体：社会福祉法人 ジェイエー長野会 経営主体：社会福祉法人 ジェイエー長野会	開設（指定）年月日： 平成14年9月1日
所在地：〒386-0004 長野県上田市殿城 250 番地 1	
電話番号：0268-26-8871	FAX 番号：0268-26-0875
ホームページアドレス： <a href="http://roman-ueda.jp/">http://roman-ueda.jp/</a>	
職員数	常勤職員：44名 非常勤職員：19名
専門職員	（専門職の名称） 看護師 8名 管理栄養士 1名
	介護支援専門員 2名 介護福祉士 63名 歯科衛生士 1名
	生活相談員 2名 機能訓練指導員 1名
施設・設備 の概要	（居室数）49 （設備等）浴室 便所 医務室 静養室
	地域交流スペース 機能訓練室 食堂 運動スペース 喫茶スペース 理髪室 家族宿泊室 洗濯室

### 3 理念・基本方針

<p>私たちは、ご利用される方々の思いや日々の生活を大切にしたい支援を行うとともに地域の皆さんとの交流を通して、いつまでも安心して過ごしていただける施設づくりに努めます。</p> <ol style="list-style-type: none"><li>利用者一人ひとりの思いや希望が日々の生活のなかで大切にされるよう努めます。</li><li>利用者と職員が共同して、プライバシーと人権の尊重に努めます。</li><li>利用者や家族が安心して利用でき、文化的な生活を創造できるよう努めます。</li><li>地域の人々が施設を囲み、多様な交流と支え合いが広がるよう努めます。</li></ol>
--

### 4 福祉サービス事業者の特徴的な取り組み

<ol style="list-style-type: none"><li>本人の思いを尊重した支援  利用者本人を中心に、センター方式を活用しながら、家族、多職種、地域の人々が連携</li></ol>
---

して、安心して楽しく日々が送れるようケア実践に取り組んでいます。また、施設入所後も自宅帰省や地域の支え合いサロン等に参加して、馴染みの人々と会うなど、家族や地域との繋がりを大切にした支援を行っています。また、その人らしい最期を迎えられるよう看取り支援も積極的に行っています。

## 2. 地域の拠点施設としての活動

家族会やボランティアさんと職員との意見交換会があり、意見や要望等をケア改善や施設運営に反映しています。また、地域に向いて専門性を活かした認知症相談、介護予防体操、認知症サポーター養成講座のほか、関係機関と連携した地域づくり等の活動を継続しておこなっています。

## 3. 社会の変化に対応できる人材育成

地域包括ケアを実践できる人材の育成とキャリアパスに応じた研修を実施し、職員の資質向上のための研修や、資格取得支援をおこなっています。

## 4. 労働環境改善の取り組み

北欧式トランスファー、「介護する人・される人双方に優しい介護方法」で、安心・安全なケアに努めています。この取り組みは、利用者だけでなく、職員にとっても腰痛予防や介護負担の軽減となり、離職防止につながっています。また、福利厚生として、職員旅行や交流会をおこない、職員がいいきと楽しく働ける職場環境を目指しています。

## 5 第三者評価の受審状況

受審回数（前回の受審時期）	4回目（平成26年度）
---------------	-------------

## 6 評価結果総評（利用者調査結果を含む。）

◇特に良いと思う点

○認知症ケアを中心とした人材育成と地域づくり

認知症ケアを中心とした地域包括ケアを担う人材育成、認知症ケア研修の継続をしている。認知症ケアの理解を深め、その実践に努めるために、ローマンうえだ主催の認知症ケア研修会等で利用者本人の主体のケアマネジメントを学び、センター方式を活かした認知症ケアを日々、取り組んでいる。他職種でカンファレンスを行う、認知症についてグループ別学習会で事例展開シートを用いて検討し合い学ぶなどして、利用者との関係作り・利用者のいいひと時・良い一日そして、よい暮らしにつながるようチームで取り組んでいる。

認知症ケア専門士資格取得者、認知症実践者研修・認知症リーダー研修修了者が、認知症ケアの向上、地域で認知症の本人と家族を支えることができるよう、教育・研修委員会が教育システムの構築をしている。職員は、地域の認知症ケアの向上に向けた意識を持って地域の認知症サポーター養成講座等の指導者を務めるなどしている。日本認知症ケア学会に事例発表をして、新しい知識や情報を得る機会を掴む一方で、認知症高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けられる地域づくりや認知症当事者を中心とした支援を職員は地域住民と連携して取り組んでいる。

開設当初より、地域で認知症の本人と家族を支えることができるよう、様々な視点で本人を知る手法「センター方式」を用いて、認知症ケアを中心とした地域包括ケアを担う人材育成を

継続して実施している。

具体的には、教育・研修委員会が中心となり、日々のケア実践をもとに、PDCA サイクルで教育システムの構築に取り組んでいる。全職員が参加するグループ別学習会では事例展開シートを用いて検討し、多職種、パート職員も互いに学び合うなどして、利用者との関係作りや、利用者のいいひと時・良い一日、よりよい暮らしにつながるようにチームで取り組んでいる。介護支援専門員、認知症ケア専門士資格取得者、認知症リーダー研修修了者等が多数おり、地域の認知症サポーター養成講座等の開催や認知症相談に応じている。職員は自ら学会に参加したり、事例発表をして、新しい知識や情報を得る機会をを図る一方で、認知症高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けられる地域づくりや認知症当事者を中心とした支援を地域住民と連携して取り組んでいる。

#### ○理念実現に向けて質の高い人材・ケアの質の担保への取り組み

理念の「安心して暮らせる地域づくり、施設づくり」の実現に向けて行動目標として「福祉に携わる者として常に人間性をみがき、知識の習得と技術の向上」を掲げ、教育、研修の大切さを明記している。ケアの最前線で働く職員の質の確保として、当事者視点を大切に認知症ケア研修を継続し地域包括ケアチームとして活躍できる人材の育成に努めている。更に負担の少ない介護方法である北欧式トランスファーを活用しケアの質の担保、職員の腰痛予防として新しいケア文化の先駆けとなっている。

また、新人の採用時研修は年度末から行われ一年間を通して OJT を含めてプログラムに沿って計画的に行われる。他の職員については研修計画シートにより方針が示され理念の実現に向けて研修課題が分析されている。階層別には初任者から、組織運営力、経営力を学ぶ管理者まで計画されている。専門職としての研修、個人が質の向上を望んで希望する研修にも参加でき、施設全体の質の向上にもつながっている。

#### ○地域連携への取り組み

ローマンうえだの施設理念に、「地域の皆さんとの交流を通して、いつまでも安心して暮らしていける施設づくりに努める」と定め、開所16年となる施設は地域密着として事業展開をしている。高齢化率 29%というこの地域で地域の課題を把握し、小学校の学習支援、棚田保全活動(オーナーになる)の参加。地域住民の意向から更に地域づくりの推進のため安心の地域づくりセミナーを住民組織、行政、JAとともに開催している。セミナー卒業者が中心になりローマンうえだのボランティア活動につながっている。ボランティアは地域の風を運んでくれ、利用者の声を届ける、世代をつなぐ役割がある。そしてセミナーを受けた人が地域でサロン活動を始め、ローマンうえだ職員が支援をしている。施設利用者もサロンに参加し、地域住民による施設での喫茶活動は利用者を地域につなげている。

ボランティアと職員の意見交換の機会があり、地域の課題や施設への要望を把握し施設運営に反映している。地域で認知症の理解を深められるよう認知症サポーター養成講座や介護相談等に職員が参画し地域づくりに貢献している。

#### ◇特に改善する必要があると思う点

#### ○施設サービス計画書(1)への認識の改善

ローマンうえだは、利用者視点を大切にされたケアを積極的に進め、認知症ケア研修を深め一人ひとりの思いに寄り添える介護計画の作成に努めている。日々介護職員を中心に自分の意向・要望が訴えにくい利用者にもセンター方式の利用により 日々発する言葉や 表情を細かに観察し利用者の思いを多職種連携やケア会議により反映する仕組みはある。施設サービス計画書(2)についても本人の意向が確認できる内容となっているが、(1)については本人の意向の記入もれがあったので改善に努めて頂きたい。

また、利用者の楽しみとなる食については、本人の意向に合わせたおやつ作りや外食支援、季節に合わせた食事等、工夫はされているが、選択食についても検討し更なる充実に期待したい。

## 7 事業評価の結果(詳細)と講評

共通項目(別添1)

内容評価項目(別添2)

## 8 利用者調査の結果

聞き取り方式の場合(別添3-2)

## 9 第三者評価結果に対する福祉サービス事業者のコメント(別添4)

(平成30年1月10日記載)

今回第三者評価を受審し、自施設の施設運営やサービスの質について振り返る貴重な機会となりました。内部だけでは、できていると思込み改善に気付けないこともあるので、外部評価はとても有意義なことだと思いました。常に問題点はないかという視点や受審で学んだことを活かしながら、今後も利用者、家族、地域等より信頼されるようサービスの質の向上を目指して取り組んでいきたいと思ひます。

社会福祉法人 ジェイエー長野会  
特別養護老人ホーム ローマンうえだ  
施設長 六川 真理子